

# ミリキタニの猫

路上の画家がのこした世界

## ジミー・ツトム・ミリキタニ展

日系2世としてアメリカに生まれ、広島で育ち、戦時中はツールレイクの日系人強制収容所で暮らしたジミー・ツトム・ミリキタニは、1980年代の後半からニューヨークの路上で絵を描きながら暮らしていました。彼が路上で何を感じ、何を思いながら絵を描いていたのか。ドキュメンタリー映画「ミリキタニの猫」では、過去と向き合いながらアイデンティティを回復していく一人の魅力的な人物として描かれていました。

今回の企画展では、そのジミー・ミリキタニが晩年に描いた作品およそ40点を、彼の「人生」の記録や、彼に関わった人たちの証言とともに展示します。米国市民権の放棄から、テロリズムを背景にした「不寛容」な時代の到来までの間に、猫をはじめとする限定的なモチーフを繰り返し描き続けた意味とは何か、来場された方々とともに考えてみたいと思います。



©Tetsuro Sato



©Jimmy Tsutomu Mirikitani

### 【関連企画】

- ・上映会
  - ① 8月4日(土)14時00分～16時00分  
映画「ミリキタニの猫《特別篇》」(2本組・計95分)
  - ② 8月25日(土)14時00分～16時00分  
映画「ミリキタニの猫《特別篇》」(2本組・計95分)  
トーク：マサ・ヨシカワ(映画プロデューサー)
- ・上映&トーク 9月22日(土)14時00分～17時00分  
映画「ミリキタニの猫《特別篇》」(2本組・計95分)  
トーク：星野智幸(作家)

入江杏(作家・ミシュカの森主宰)

会場：東京都人権プラザ セミナールーム  
定員：80名(事前申込不要、当日先着順)  
情報保障(要問合せ)、託児保育(要事前申込)



Photo by Hiroko Masuike



### 「ミリキタニの猫《特別篇》」

「ミリキタニの猫」(2006年/74分/監督：リンダ・ハッテンドーフ)と  
新作短編「ミリキタニの記憶」(2016年/21分/監督：Masa)の二本立て。  
マサ・ヨシカワ氏は前作で製作/撮影、新作短編の監督を務める。



### 東京都人権プラザ 1階 企画展示室

住所：〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1階

開館時間：9時30分～17時30分

休館日：日曜日

■お問い合わせ Tel：03-6722-0123 Fax：03-6722-0084

E-Mail：tenji@tokyo-jinken.or.jp URL：www.tokyo-hrp.jp

### 【交通案内】

- 都営三田線「芝公園」駅 A1出口から徒歩3分  
※車いす、ベビーカー等ご使用の方は、A3出口エレベータをご利用ください。
- 都営浅草線・都営大江戸線「大門」駅 A3出口から徒歩7分
- JR線・東京モノレール「浜松町」駅金杉橋口から徒歩8分